

# 「乾癬」という皮膚病

皮膚科

冬

場に悪化することの多い皮膚病の1つに乾癬という病気があります。一般にはあまり知られていませんが日本人ではおよそ1,000人に1人の割合で見られます(欧米の1/10)。男性に多く(男:女=2:1)20歳代と50歳代に発症のピークがあると言われます。主な症状は銀白色のウロコ状のかさぶたに被われたやや厚みをもった皮疹で、かさぶたを剥がすと同様のかさぶたがすぐまたできるのでなかなか治りにくいものです。特に冬場にはかさぶたが常に剥がれ落ちて白く粉をふいたようになります。頭皮・腰背部・肘・膝などに多く痒みはおよそ半数に生ずると言われますが比較的軽度です。関節痛を併発することもあります。

乾癬の原因についてはまだわかっていませんが、遺伝的要因に加え様々な心理的ストレスや環境要因が関与していると言われています。乾癬の患者さんに高脂血症が多いこと等から欧米型の食生活との関係が指摘され、また喉の感染症の1つである溶連菌の関与等が知られていますので、食生活の見直しやうがい等の感染予防が大切です。喫煙も増悪因子に挙げられています。

治療法については、最近の研究でかなり有効な薬品が開発され日進月歩ですが、完全に治癒するところまでは至っておりません。症状の程度にあわせて内服薬、外用剤、紫外線療法などを併用し、日常生活に支障がないようにコントロールします。特に皮疹が全身に広がるような場合は、人目が気になり公衆浴場に行けなくなるなど大きな心理的ストレスになります。身体的には問題がないことが多く、人に移る心配もありません。一般の方に乾癬について広く知っていただくことで患者さんの心の負担が少しでも和らぐことを願っています。

梶山 理嘉

医療法人社団めぐみ会

田村クリニック2

東京都多摩市落合1-35 ライオンズ多摩センター3F

<https://www.tamuracl2.com/>

予約・お問い合わせ

042-357-3671

※科目により診療時間及び受付時間が異なります。  
詳しくはお問い合わせください。

ホームページ

